

第 3 回

学生生活実態調査結果報告書

2022 年度・令和 4 年度

桐生大学・桐生大学短期大学部

2023 年 2 月実施

目 次

序 章 調査の概要	1
第Ⅰ章 基本的事項	
1～3. 調査対象人数及び回収率	3
第Ⅱ章 学業・学習環境	
4. 学内ではどこで勉強していますか(複数回答可)	4
5. 1 週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1 時間)	4
6. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか	4
7. 図書館を利用しましたか	4
8. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月 5 回、週 2 回等)	5
9. どのような目的で利用していますか(複数回答可)	5
10. 主にどの分野の図書を利用していますか(複数回答可)	5
11. 図書館の開館は何時まで(いつ)がいいと思いますか(複数回答可)	5
第Ⅲ章 課外活動	
12. どのようなサークルに入っています(入っていました)か(複数加入している場合は主に活動しているもの)	6
13. サークルに入った理由はなんですか(自由記述)	6
14. サークルでは 1 週間当たりどれくらい活動しますか	6
15. サークル活動と勉強は両立していますか	7
16. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか	7
17. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(自由記述)	8
第Ⅳ章 ボランティア活動	
18. ボランティア活動をしたことがありますか	8
19. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか	8
20. 実際に行ったボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)	9
21. ボランティア活動に何回参加したことがありますか(記入例：1 回)	9
22. ボランティア活動に参加してどうでしたか	9
23. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)	10
第Ⅴ章 アルバイト	
24. アルバイトについてうかがいます	10
25. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)	11
26. アルバイトは 1 週間の平均で何時間くらいやっていますか	11
27. アルバイトの情報をどこから入手しましたか(複数回答可)	12
28. アルバイトと学業は両立していますか	12
29. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)	13
第Ⅵ章 学生生活	
30. あなたは喫煙しますか	14
31. 学内は全面禁煙である事は知っていますか	14
32. 現在、何かに悩んでいることがありますか	14
33. どのようなことに悩んでいますか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)	15
34. 悩みがあると、誰に相談しますか(記入例：保護者等)	15

35. 保健室がある事を知っていますか	15
36. 保健室を利用した事がありますか	15
37. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか	16

第Ⅶ章 進路(就職・進学)

38. 卒業後はどのような進路を考えていますか	16
39. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)	16
40. 就職する地域はどこを希望していますか	17
41. 本学の就職のサポート体制に満足していますか	17
42. 就職の相談は誰にしますか	18
43. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)	18

第Ⅷ章 住居・通学

44. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか	18
45. 自宅以外なら、どのような所ですか	19
46. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)	19
47. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか	20
48. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか	20

第Ⅸ章 食生活

49. 朝食を摂っていますか	20
50. 朝食を摂らない理由は何ですか	21
51. 昼食はどのようにしていますか	21
52. 夕食はどのようにしていますか	22
53. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか	22
54. エレガンテ(売店)を利用しない理由は何ですか(複数回答可)	22

第Ⅹ章 その他

55. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学内で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)	23
56. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください	23
57. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学外で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)	23
58. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください	23
59. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか	24
60. どのような場面で感じたか具体的に記入してください	24
61. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がよいと思いますか(複数回答可)	24
62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)	24
63. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)	24
64. 協力ありがとうございました。意見などがあったら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)	25

巻末資料

1. 委員会の構成メンバー	26
2. 総括	27

桐生大学・桐生大学短期大学部教育組織概説図

医療保健学部(4年)
看護学科
栄養学科

短期大学部(2年)
生活科学科
アート・デザイン学科

別科(1年)
別科助産専攻

序章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、桐生大学・桐生大学短期大学部の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施

学生へのより良いサービス向上等に資するため学生委員会において、調査内容の企画立案、調査票を作成し、実施した。

3. 調査の対象

令和5年1月現在で本学に在籍している全学生を対象とした。

ただし、休学者、研究生、聴講生及び科目等履修生の学生は除いた。

4. 調査の時期

2023年（令和5）年

2月1日(水)～2月28日(火)

5. 調査の方法

学生ポータルにて開始を案内し、Microsoft Formsにて実施した。対象者が設問に解答していく方式とした。

結果の概要

2023 年 2 月に、「学生生活実態調査」として、学生の経済的状況、学習状況、課外活動、生活全般、将来の希望進路についてアンケート調査を実施した。

本調査では、776 名の調査対象学生に対して 145 名から回答を得た（回収率：18. 6%）。

令和 4 年度も COVID-19 による教育内容の変更が若干みられ、そのことが調査結果にも反映されている。

以下、調査結果の概要を示す。

学修状況・学習環境： 桐生大学・桐生大学短期大学部の学生は、11 号館レストランのラウンジや、空き教室を使って勉強している。所属する学科の実習室、図書館なども活用している。勉学の時間には、大学の授業の復習やレポート作成に時間を費やしている。コンピュータ室を利用する学生が多い。

課外活動： 本学でのサークル活動は活発に行われているというほどではない。体育系サークルや文科系サークルの結成数はそこそこ多いがサークルに所属する学生はそれほど多くはない。講義に加え、実習や演習、実技の課題、アルバイトなどがあり、サークル活動に費やす時間の確保が難しい状況がある。

ボランティア活動： ボランティア活動にかかわりのある学生はそれほど多くない。授業や実習等の時間が多いため、ボランティア活動まで手が回らない状況である。ボランティアは有意義な活動であるから、大学としてボランティア活動について情報をあつめ、授業時間とリンクさせて、自発的に活動できるような体制づくりを目指したい。

学生生活： 本学では多種類の免許や資格が取得できる。学習面での不安や経済的な困難を抱えている学生もいる。現在、各クラスに担任や副担任をつけて学生の生活相談にのってもらえるようにしているが、より手厚いサポートが実現できるよう考えていかねばならない。

進路： 本学ではほとんどの学生・短大生が就職を希望している。看護師や管理栄養士、栄養士、助産師のほか、デザイナーや医療事務の仕事に就く場合もある。各学年でキャリアガイダンスを行っているが、就職支援の満足度は高くないので、より多くの場面で仕事の意義や就職活動の進め方についてレクチャーできればと思う。

住居・通学： 本学に通う学生の 8 割が自宅から通学している。残り 2 割がみどり市や桐生市でアパート借り一人暮らしをしている。一人暮らしをする女子学生が少なくないので防犯教育や一人暮らしのノウハウについてのレクチャーをしたりしている。

アルバイト： 6 割から 7 割の学生がアルバイトをしている。アルバイト先として飲食業や販売業が多い。自宅やアパートから通える近場での仕事が多い。大学内でもアルバイト情報を掲示し紹介しているが利用頻度は高くない。学業に支障をきたさない範囲でアルバイトをするようクラス担当教員が指導している。

食生活： 7 割程度の学生が朝食を食べてきている。昼食も弁当を持参したり、学内の売店で買ったりしている。隣接するやましろやで購入することも多い。大学の周囲には飲食店や衣料品店などがあり、学生が生活するうえで利便性が高い。

その他： 学生の連絡手段が情報通信メディアを中心としたものに変化している。大学としても授業休校や行事の実施等の連絡が速やかに行えるよう、情報機器数を増やすなど充実に努めなければならないと考える。

第Ⅰ章 基本的事項

1～3. 調査対象人数・回収率

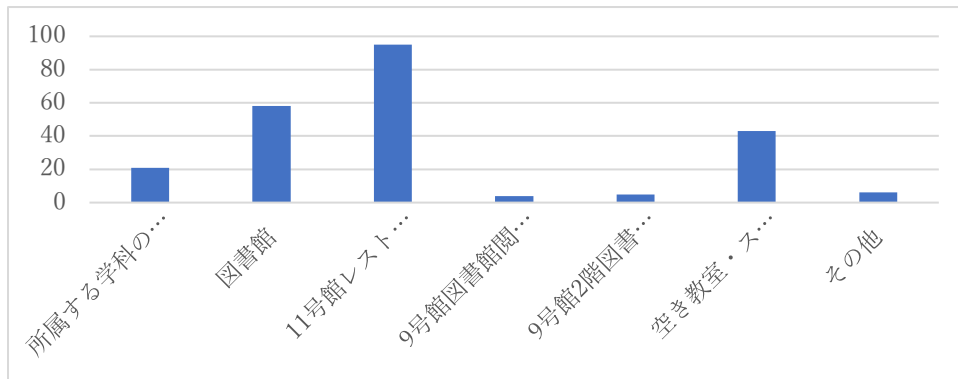
対象学生 766 人に対して、145 人からの回答を得た。回収率は、全体で 18. 9%であった。全体で 20%に満たない低い回収率であり、今後、実施方法を見直すなどして、改善していかねばならない。

学科名	対象学生人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
看護学科	332	55	16.5
栄養学科	226	58	25.6
別科助産専攻	18	4	22.2
生活科学科	79	13	16.4
アート・デザイン学科	111	15	13.5
全体	766	145	18.9

第Ⅱ章 学業・学習環境

4. 学内ではどこで勉強していますか(複数回答可)

複数回答可の設問としているが、全体の 40%は 11 号館レストランラウンジで勉強している。

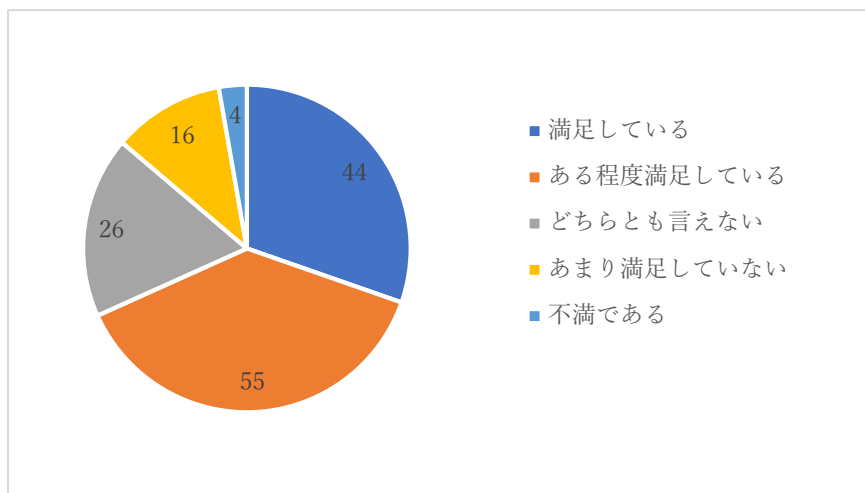


5. 1 週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1 時間)

1 人あたりの平均として、週約 5 時間の勉強時間となる。

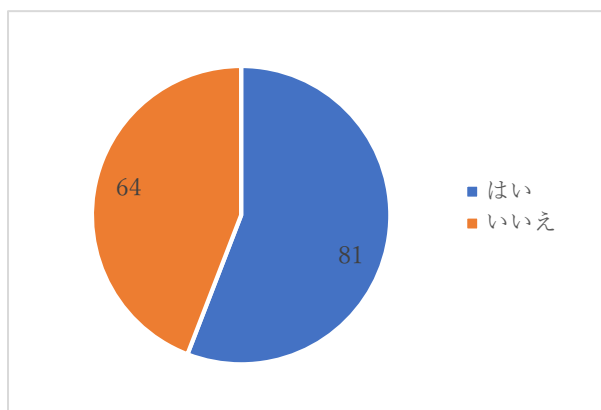
6. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか

満足、ある程度満足 of 学生は全体の 68%である。



7. 図書館を利用しましたか

解答数の過半数（56%）が利用していると回答しているが、在籍総数から見た利用者割合は低いと感じる。

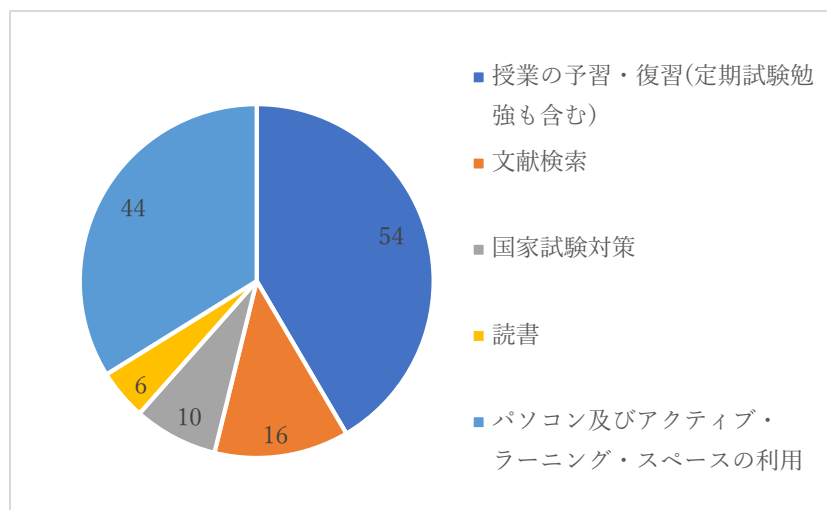


8. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月5回、週2回等)

頻度の個人差はあるが、学生それぞれの使用目的に応じた利用の仕方が窺えた。

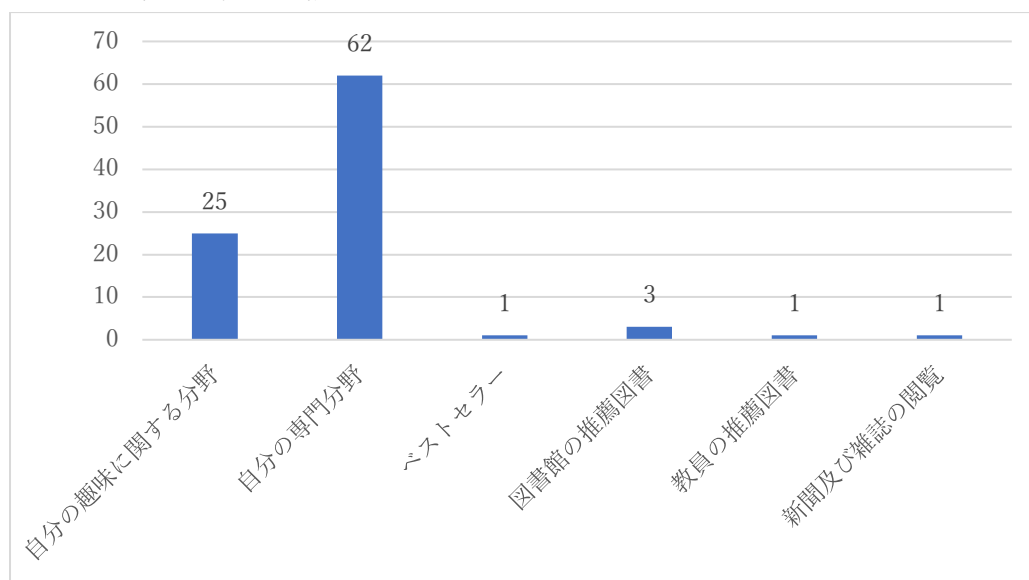
9. どのような目的で利用していますか(複数回答可)

定期試験勉強の場として利用する学生の割合が多い。学内で個人の勉強スペースを確保したいと望む学生層が見えてくる。



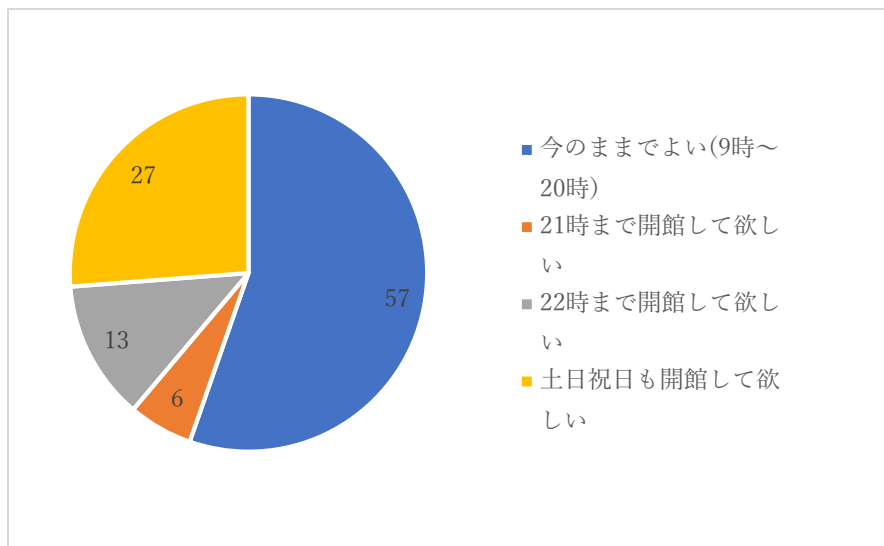
10. 主にどの分野の図書を利用していますか(複数回答可)

目的に応じた分野の図書利用が主であった。新聞や推薦図書など、分野にこだわらず広く知識研鑽を目的とした利用が少ない傾向もうかがえる。



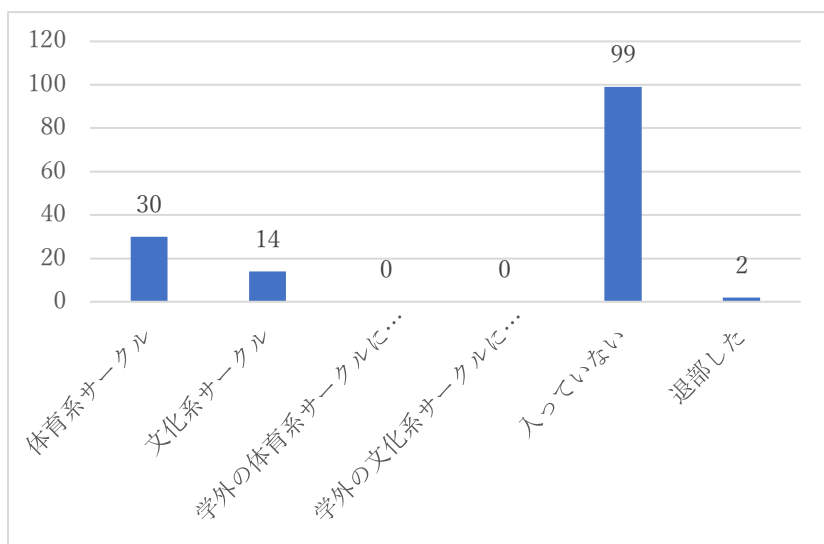
11. 図書館の開館は何時まで(いつ)がいいと思いますか(複数回答可)

学生の行動にあわせて利用している傾向が見える。個人の学習環境状況などから、土祝日の利用を希望する層も存在すると思われる。



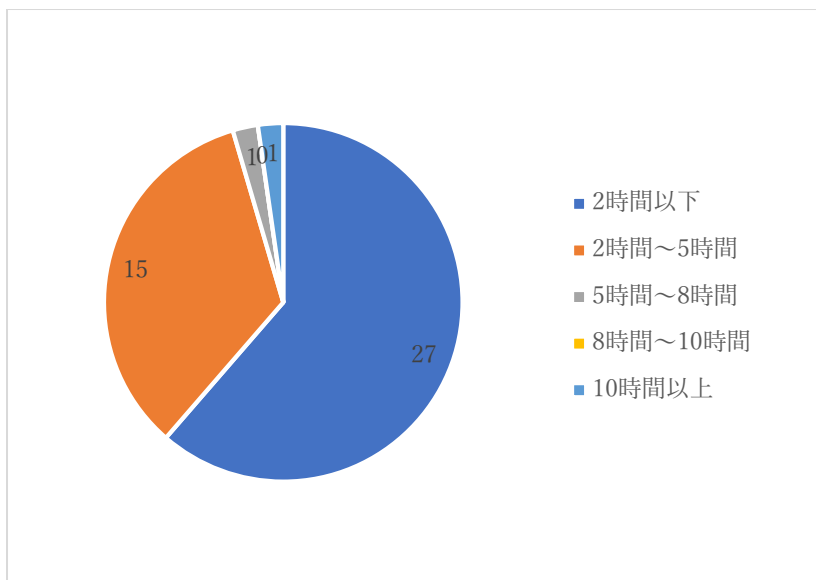
第Ⅲ章 課外活動

12. どのようなサークルに入っています(入っていました)か (複数加入している場合は主に活動しているもの)
 前回の調査と同様にほとんどの学生がサークルに加入していない。



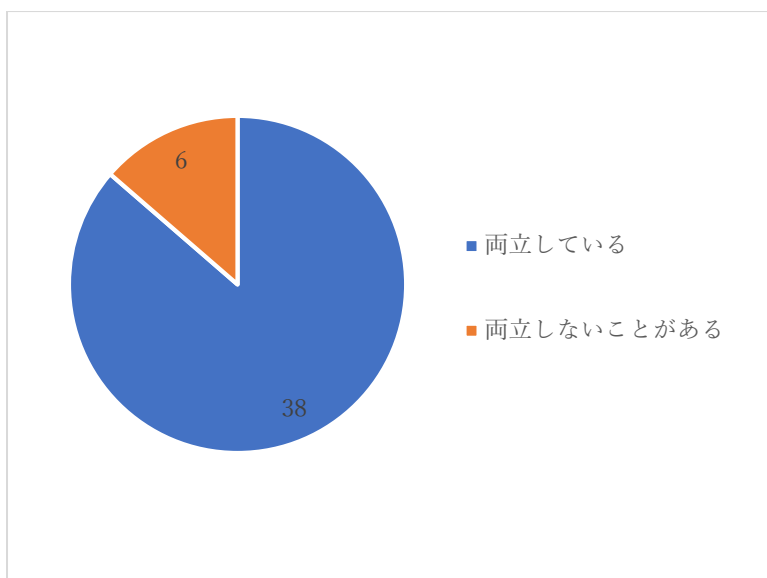
13. サークルに入った理由は何ですか(自由記述)
 体を動かしたい、運動不足解消といった回答が多くあった。

14. サークルでは1週間当たりどれくらい活動しますか
 活動時間が20時までとなっており、5限終了後に活動する事から2時間以下の回答が多くあった。



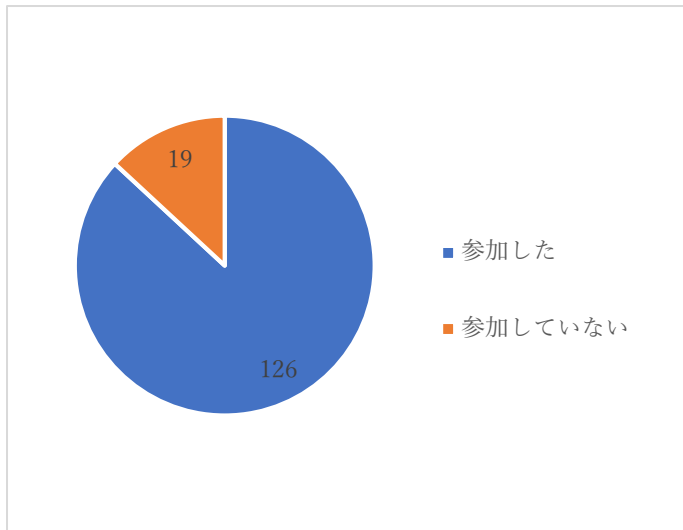
15. サークル活動と勉強は両立していますか

活動時間が短い事から両立しているとの回答が多くあった。



16. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか

ほとんど大多数の学生が参加(出席)した。



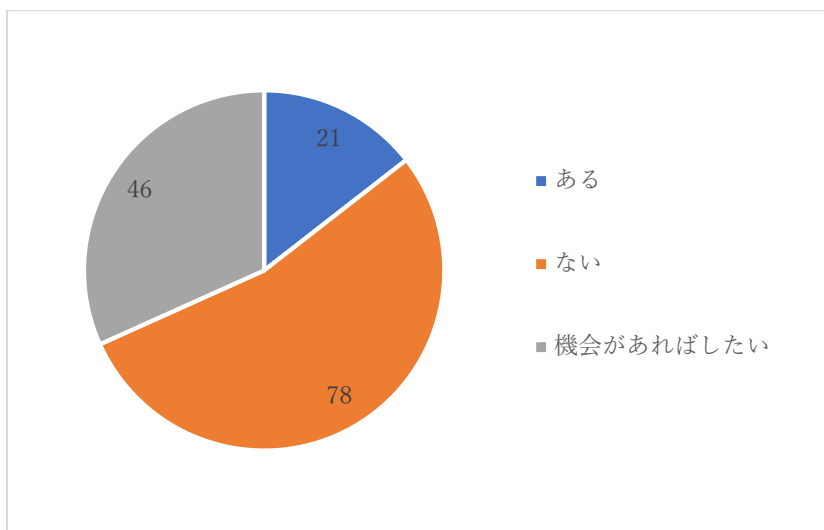
17. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(自由記述)

欠席理由の一つにコロナウィルス感染によるものもあり、近年の特徴ともいえる。

第IV章 ボランティア活動

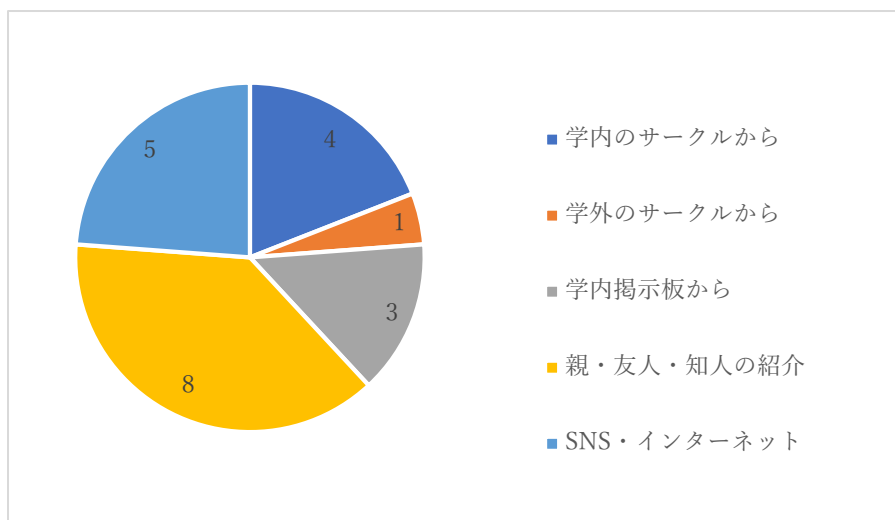
18. ボランティア活動をしたことがありますか

あると答えた学生が約 15%であり全体から見て少ないが、機会があればしたい学生が約 30%おり情報が上手く得られていないことが見受けられる。



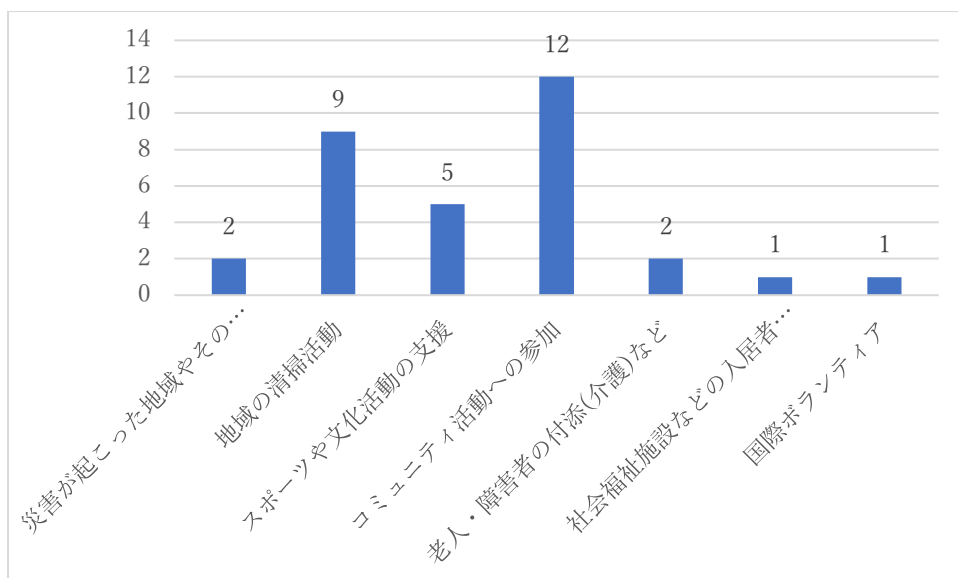
19. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか

情報源の多くは「親・友人・知人の紹介」、「SNS・インターネット」、「学外サークル」で約 66%を占めており、主に学校外から情報を得ていることが分かった。



20. 実際に行ったボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)

「コミュニティ活動への参加」、「地域の清掃活動」が約半数を占めており、何かしらのコミュニティに属している場合や地域に属している事等、プライベートの繋がりから参加していると考えられる。

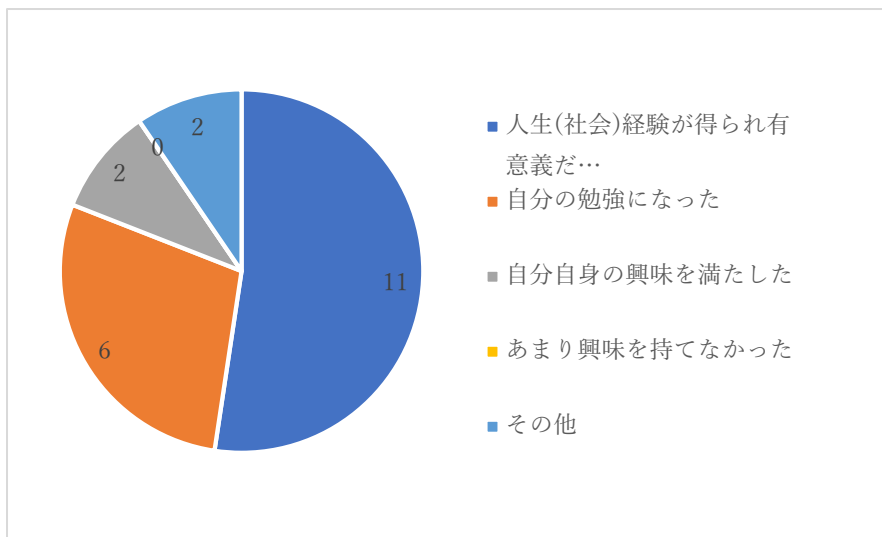


21. ボランティア活動に何回参加したことがありますか(記入例：1回)

大体の学生が1回や3～5回ほどであったが、中には10回、20回以上参加していると答える学生や、週2回と定期的に参加している学生も見受けられた。

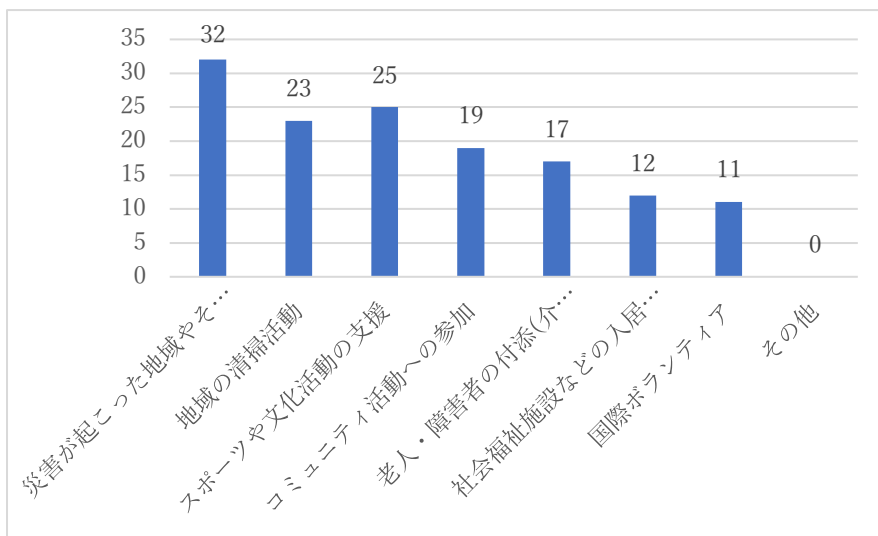
22. ボランティア活動に参加してどうでしたか

「あまり興味を持てなかった」と答えた学生が0%であり、参加した学生が何らかの形で自分にとってプラスの経験・感情になっていることが分かった。



23. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

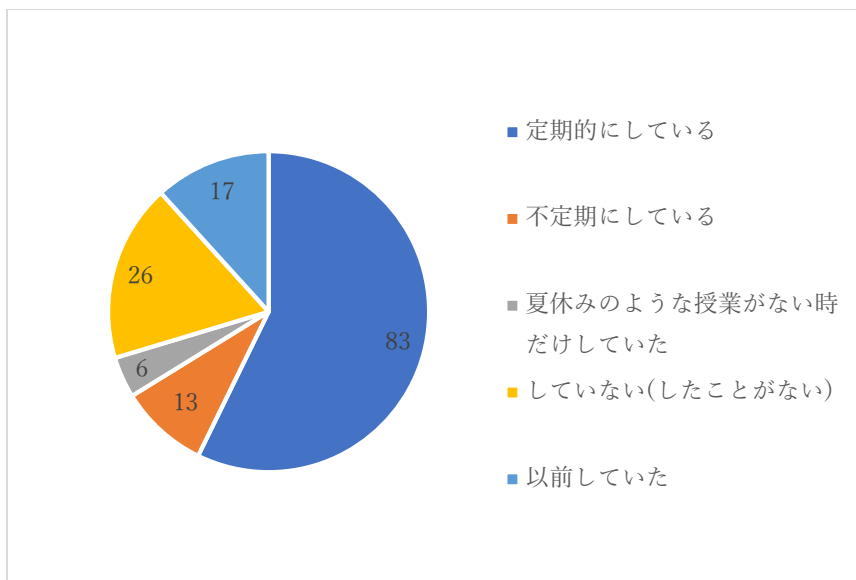
「災害が起こった地域やその被災者の救助活動」が最も多く、次いで「スポーツや文化活動の支援」、「地域の清掃活動」だった。



第V章 アルバイト

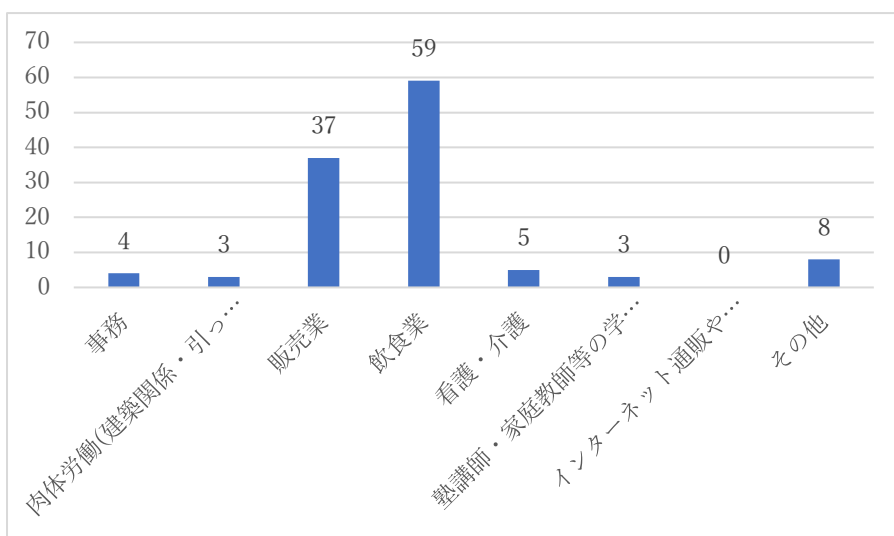
24. アルバイトについてうかがいます

全体の 82%の学生はアルバイトの経験がある事が判明した。



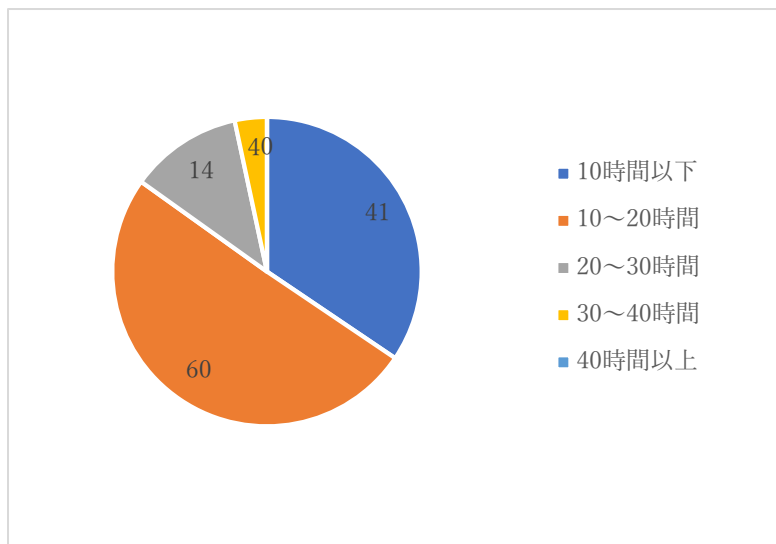
25. どのようなアルバイトをしていますか(していましたか)

アルバイト経験のある学生の 49%が飲食業系のアルバイトをしていたことが判明した。



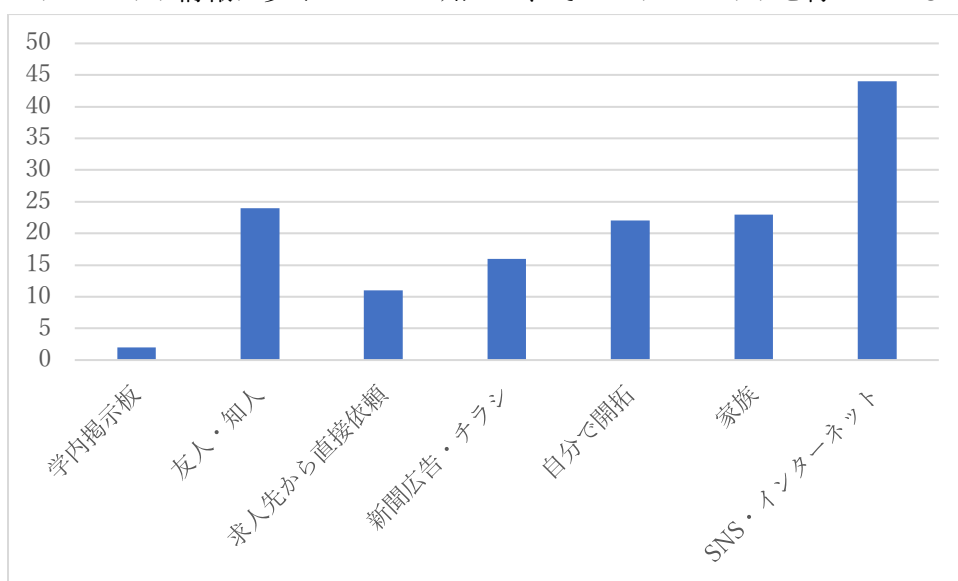
26. アルバイトは1週間の平均で何時間くらいやっていますか

84%の学生が10時間以下と10～20時間の勤務となっている。



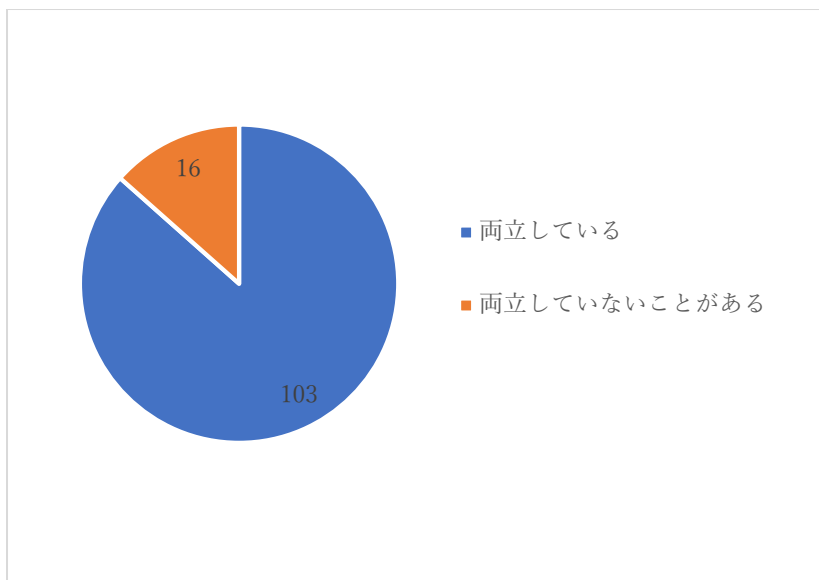
27. アルバイトの情報をどこから入手しましたか(複数回答可)

アルバイト情報は多くが SNS で知って、そこでアルバイトを行っているという状況である。



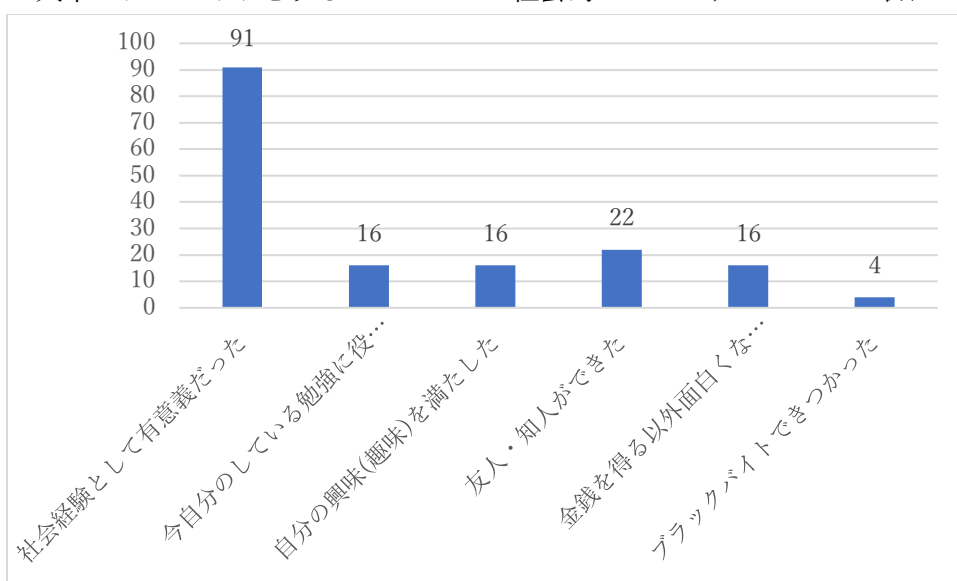
28. アルバイトと学業は両立していますか

86%の学生が学業とアルバイトを両立しているという回答となっている。



29. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)

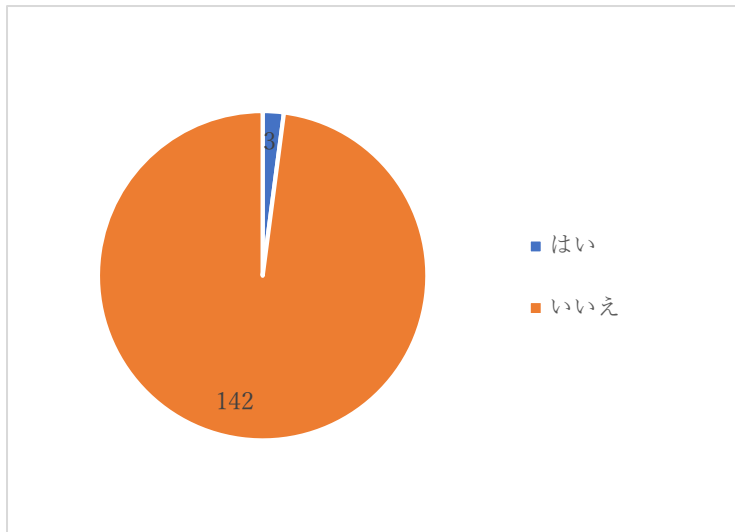
大半がアルバイトをすることによって社会的コミュニケーションが取れたという回答が得られている。



第Ⅵ章 学生生活

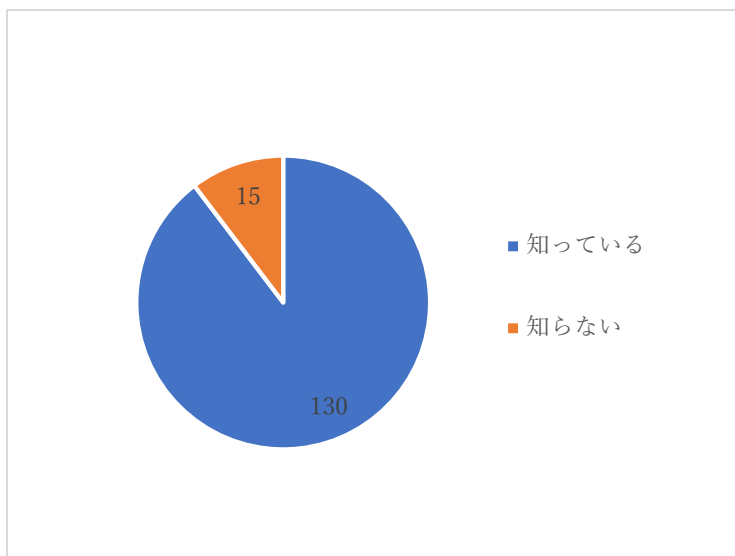
30. あなたは喫煙しますか

約 98%の学生が喫煙をしないと答えた。



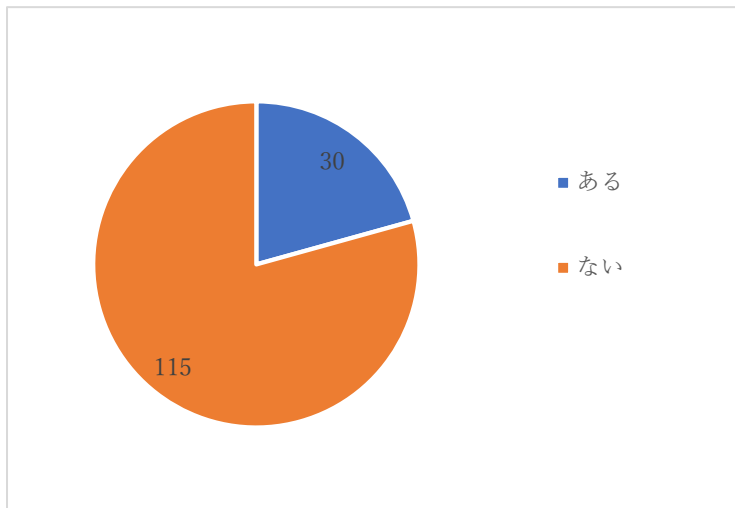
31. 学内は全面禁煙である事は知っていますか

約 90%の学生が全面禁煙である事を知っていると答えた。



32. 現在、何かに悩んでいることがありますか

何らかの理由で悩んでいる学生が全体の約 21%いることが分かった。



33. どのようなことに悩んでいますか。(記入例：学業に関する不安・人間関係等)

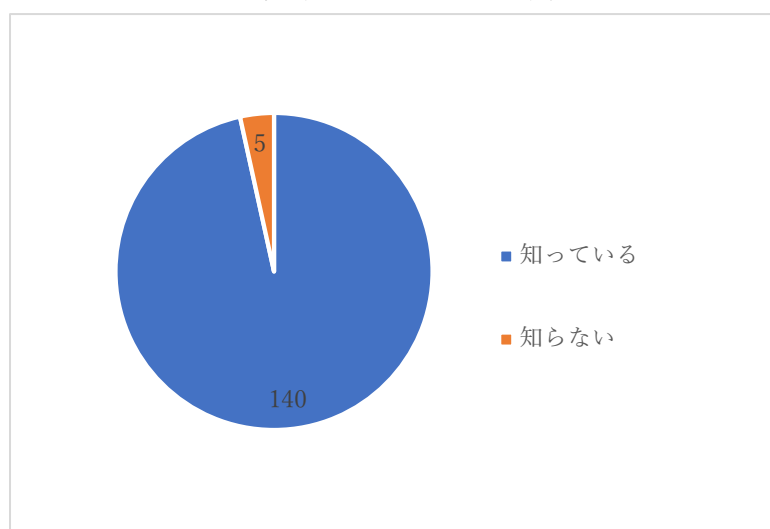
上記の中で進路・就職に悩んでいる学生が全体の9%、次いで学業に関する不安を抱いている学生が全体の4%いた。(全体=回答者 145 名)

34. 悩みがあると、誰に相談しますか(記入例：保護者等)

悩みの相談相手に保護者や親・きょうだいと回答した学生が全体の約12%、友人が約6%、教員が1%、相談していないまたは相談相手がいないと回答した学生が約3%いた。(全体=回答者 145 名)

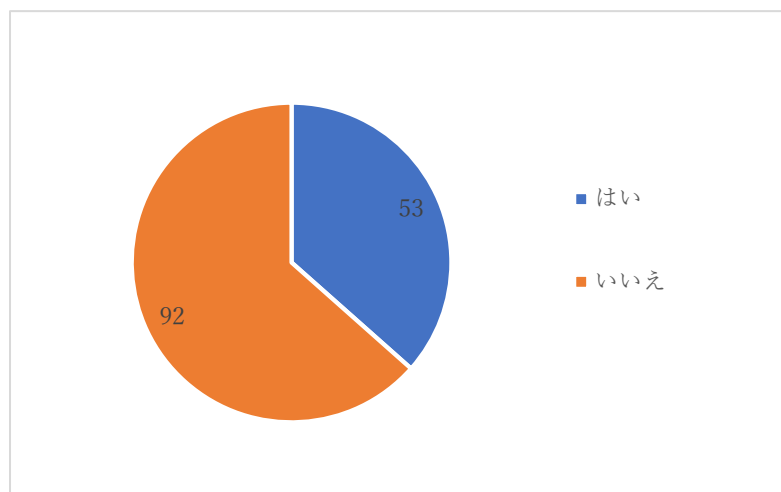
35. 保健室がある事を知っていますか

知っている 140 人(96.6%)、知らない 5 人(3.4%)この結果より 140 人(96.6%)の大多数の学生は保健室があることを知っている。しかし、場所はどこかと、問い内容を変えた場合は利用した学生はわかるが、結果が逆転することもあり得る。知らない学生 5 人(3.4%)より、保健室があることと、場所については入学時オリエンテーション等で周知することが必要である。



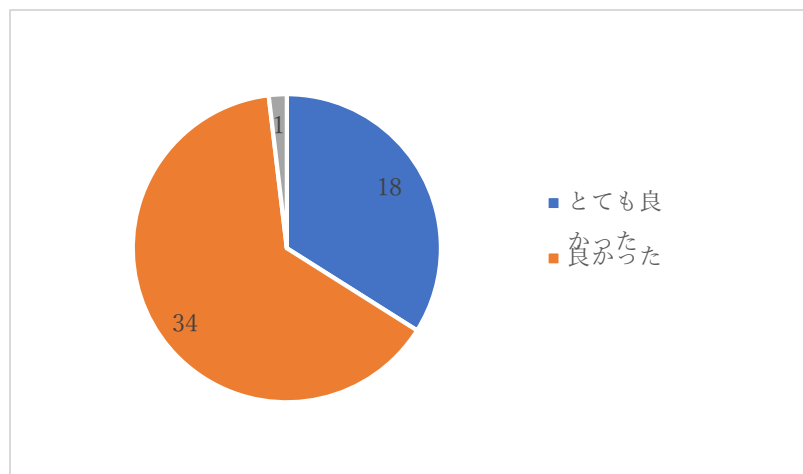
36. 保健室を利用した事がありますか

"はい 53 人(36.6%)、いいえ 92 人(63.4%) 5 人の中の 2 人くらいは必要時に利用していることが明らかとなっている。利用時間や、利用内容、男女比は明かされていないが、大学生という年齢相応の時期に起こる身体症状や、心理症状が、保健室の利用で軽減できていれば利用は有意義である。"



37. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか

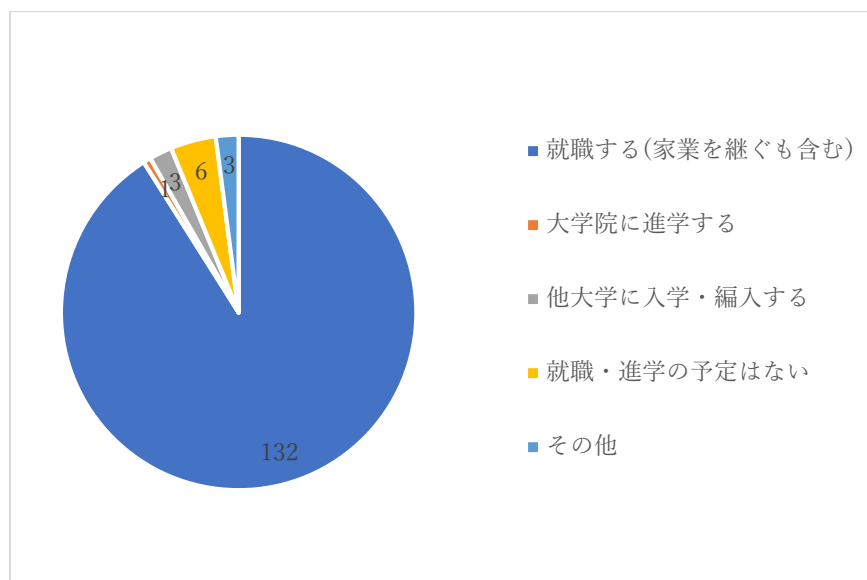
"とても良かった 18 人(34.0%)、良かった 34 人(64.1%)、良くなかった 1 人(1.9%)とても良かったと良かったでは、52 人(98.1%)である。1 人(1.9%)ではあるが、良くなかった学生がいた。環境要因(光、音、室温等)であれば、改善策を講じることである。"



第Ⅶ章 進路(就職・進学)

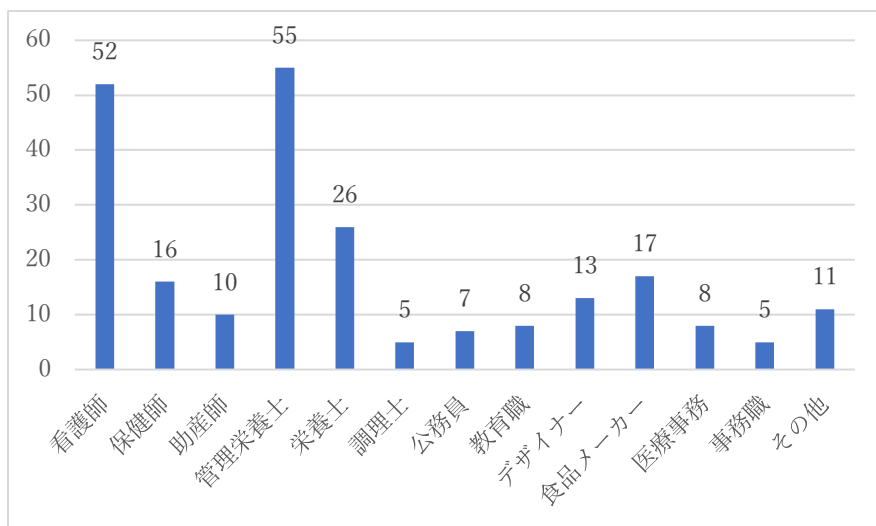
38. 卒業後はどのような進路を考えていますか

卒業後、9 割の学生は就職を希望している。



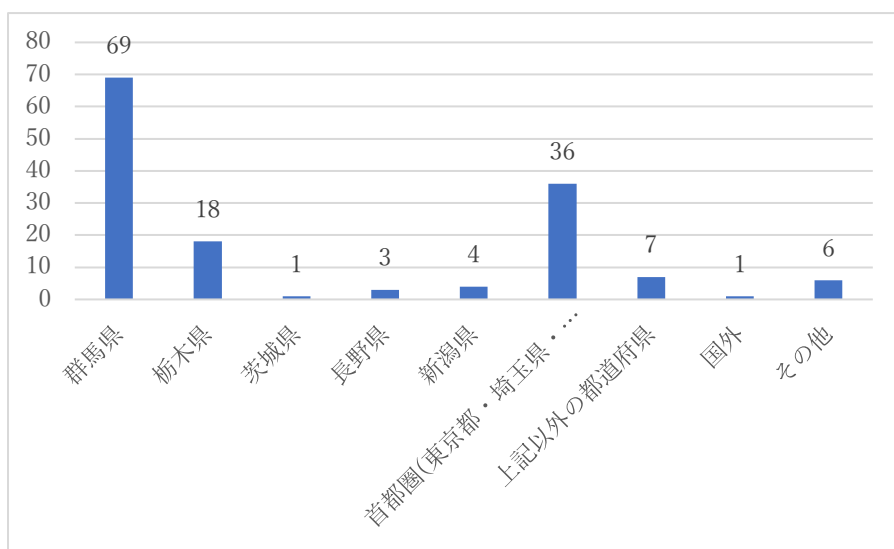
39. 卒業後、どのような職業に就きたいですか(複数回答可)

取得した資格(看護師、管理栄養士、栄養士等)が生かせるところに就職する学生が多い。



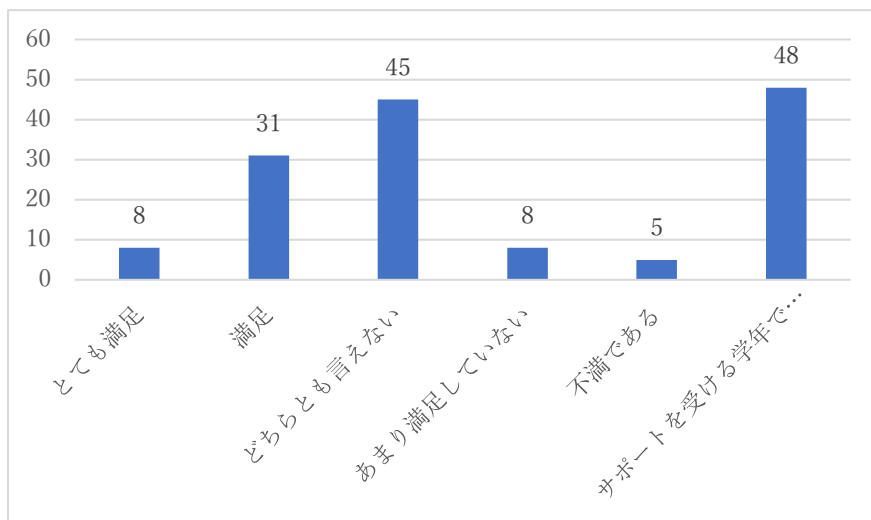
40. 就職する地域はどこを希望していますか

半数近い学生は群馬県内に就職する。



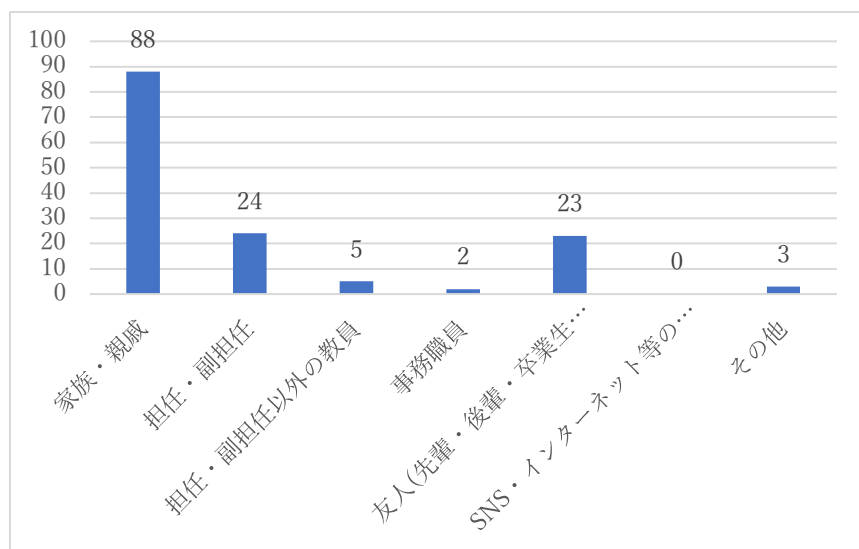
41. 本学の就職のサポート体制に満足していますか

就職のサポート体制は サポートを受ける学年の4割が満足している。5割近い学生はどちらとも言えないと回答している。



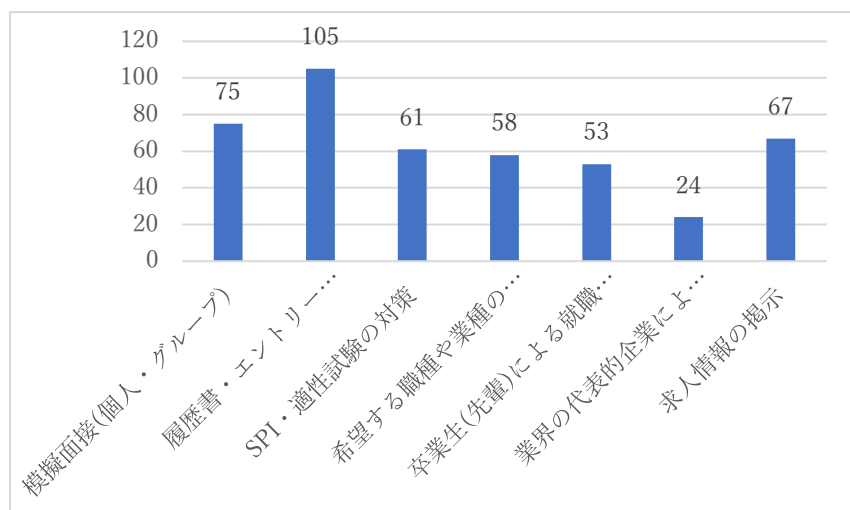
42. 就職の相談は誰にしますか

就職の相談相手は、6割の学生は家族・親戚と答えている。教員に相談する学生は2割程度である。



43. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)

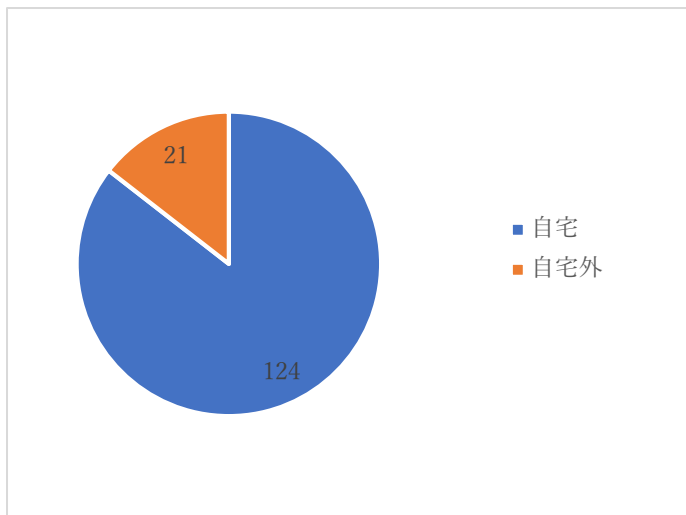
就職のサポート体制として、履歴書・エントリーシートの書き方を希望する学生が7割いる。次が模擬面接(個人・グループ)、求人情報の開示であった。



第Ⅷ章 住居・通学

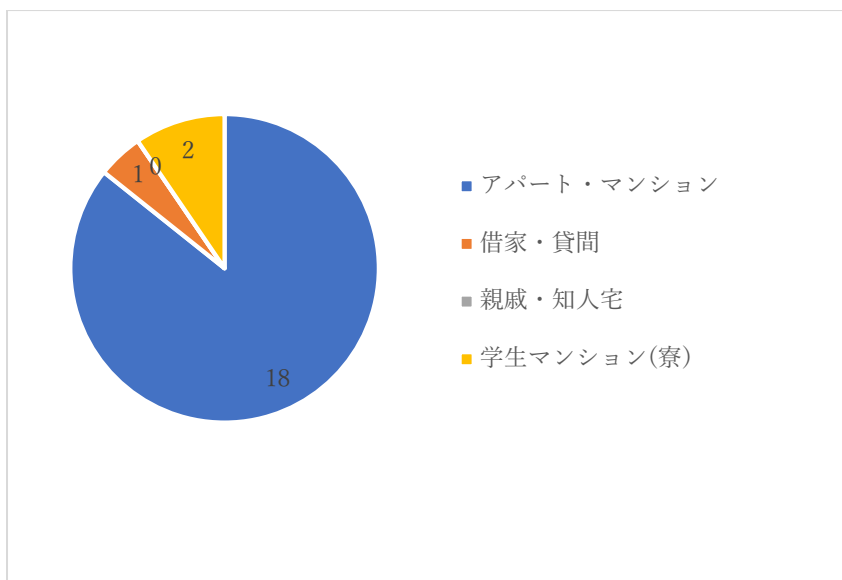
44. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか

回答者の85%は自宅からの通学である。



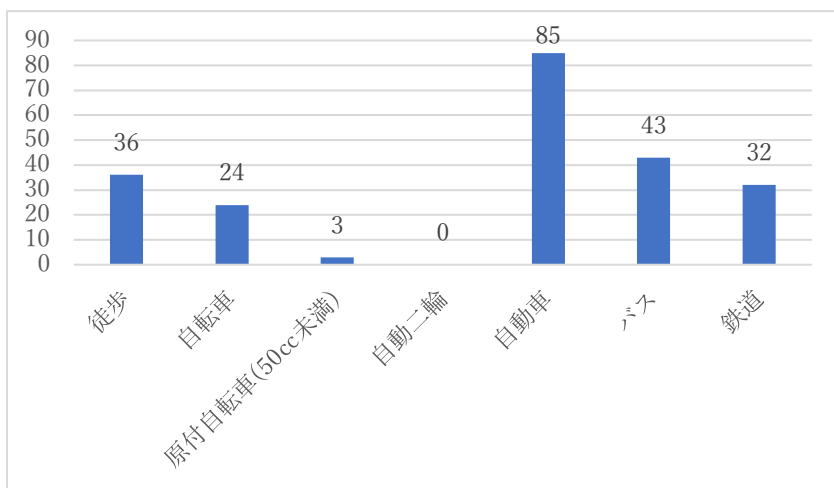
45. 自宅以外なら、どのような所ですか

自宅外と回答した 21 名の内 18 名はアパート・マンションと回答した。



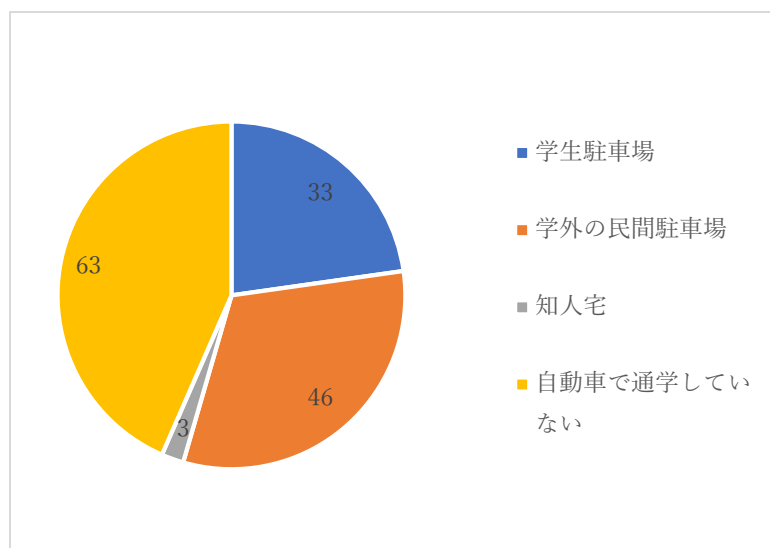
46. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)

複数回答可の設問ではあるが、自動車での通学が多くなっており、次点でバスでの通学となっている。



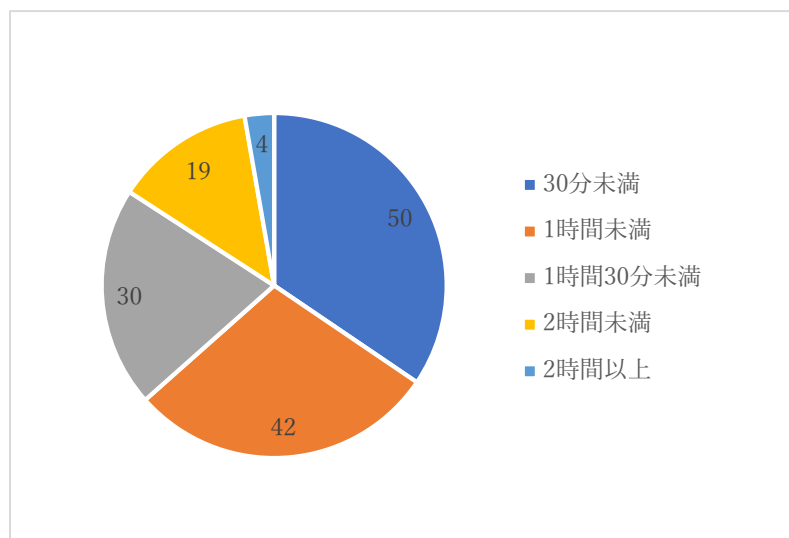
47. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか

昨年度より高校の新寮建設により学生駐車場のスペースが減少したため、学外駐車場を契約している学生が増加した。



48. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

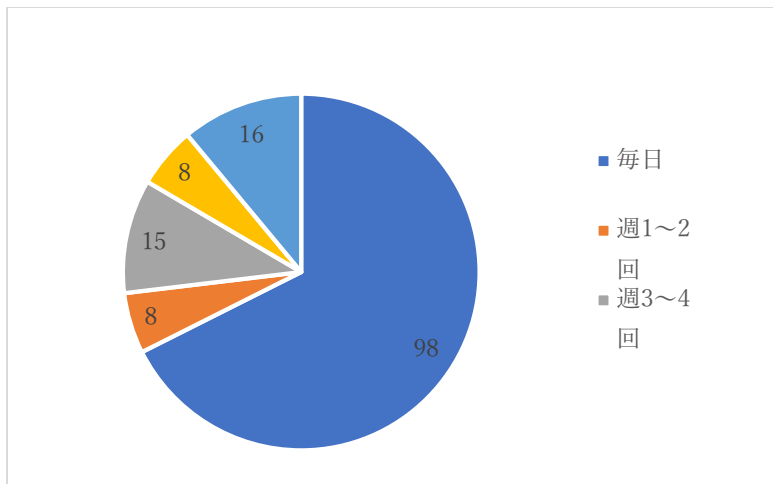
30分未満と1時間未満が多く、大学の近郊に居住地があると思われる。



第IX章 食生活

49. 朝食を摂っていますか

朝食を毎日摂っている学生が7割程度いるが、次に多いのは全く摂らない学生である。

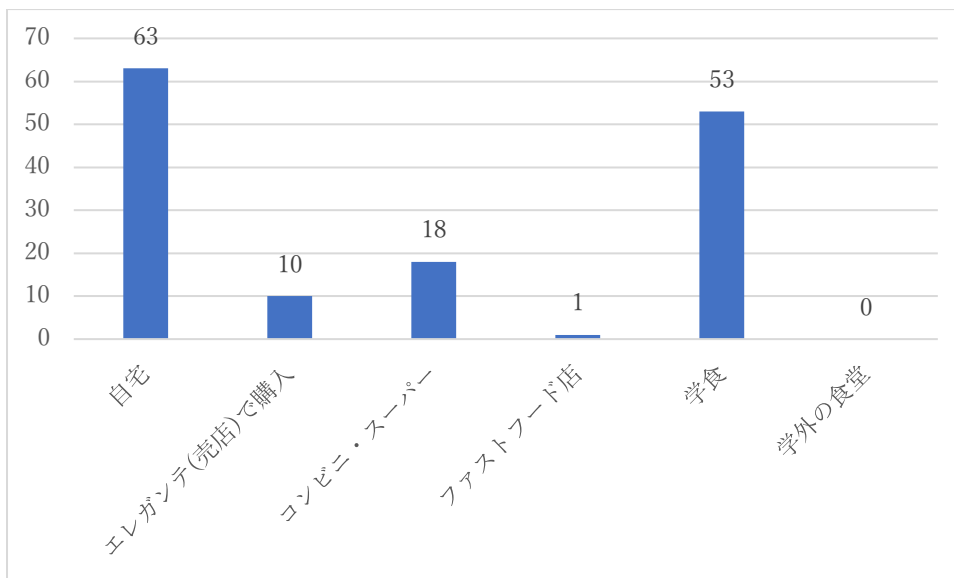


50. 朝食を摂らない理由は何ですか

学科、学年関係なく、時間がない、食べると体調が悪くなるという意見が多い。少数意見として、めんどくさい、なんとなく、習慣がないなどもある。

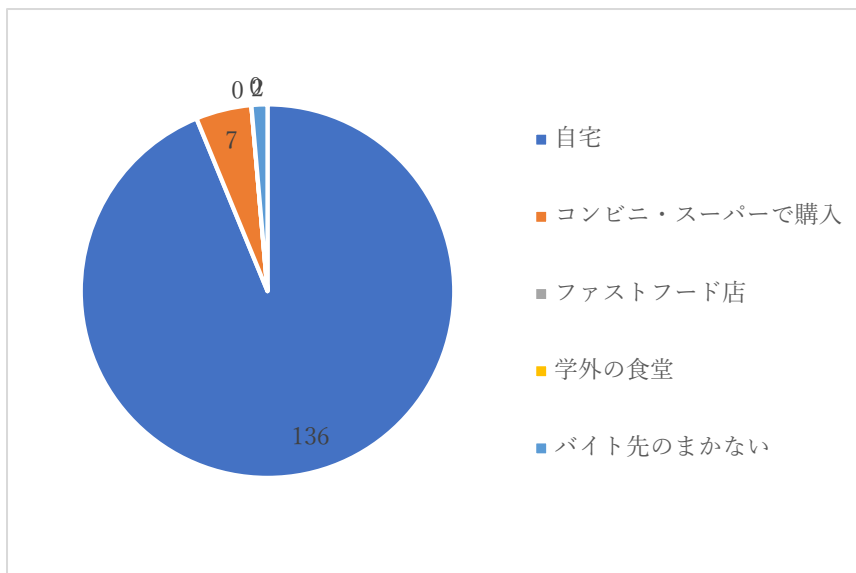
51. 昼食はどのようにしていますか

自宅あるいは自宅から持ってきている学生が多く、次いで学食の利用が多い。学外の食堂を利用している学生はいない。



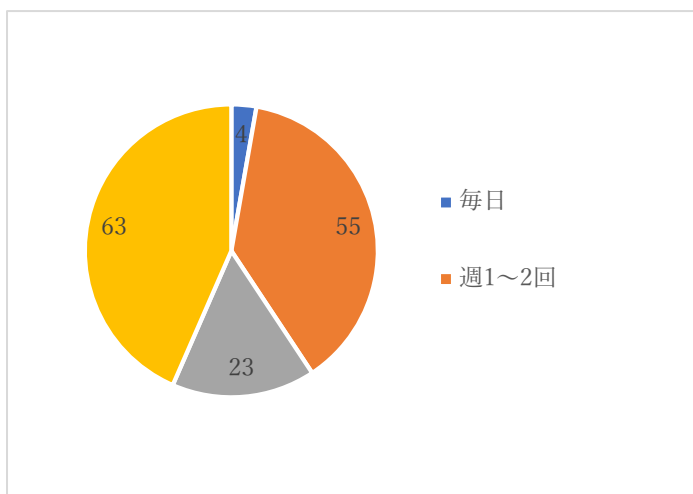
52. 夕食はどのようにしていますか

自宅で食べる学生がほとんどを占めており、ファストフード店や学外の食堂で摂っている学生はいない。



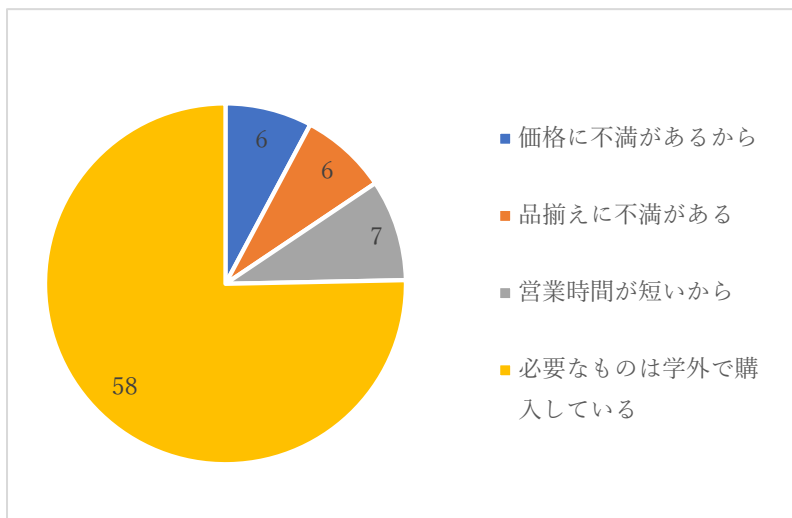
53. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか

週1～2回利用する学生よりも、全く利用しないという学生の方が多かった。



54. エレガンテ(売店)を利用しない理由は何ですか(複数回答可)

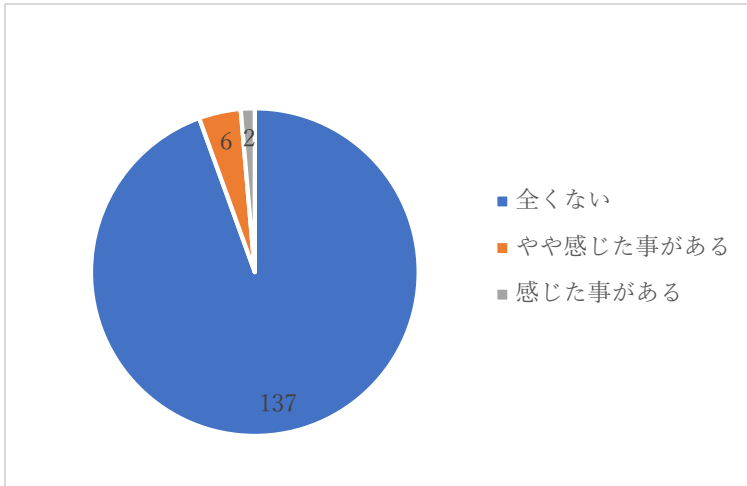
必要なものは学外で購入している、が圧倒的に多かった。



第X章 その他

55. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学内で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

回答した 94.5%の学生が学内で身の危険や不安を感じたことが全くないという結果になった。

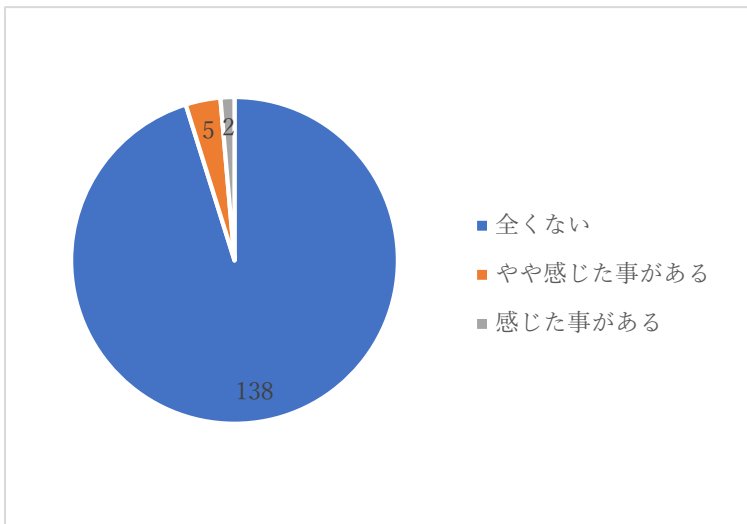


56. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

「やや感じた事がある」8件の回答では、知らない人がいたときや知らない人に話しかけられた際に危険や不安を感じた場合が5件と一番多くなった。また、2件の盗難被害や窃盗未遂という犯罪行為が身近に起きたときという回答があり、学内の防犯について確認が必要であることが示唆された。

57. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって学外で身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

回答した 95.2%の学生が学外で身の危険や不安を感じたことが全くないという結果になった。

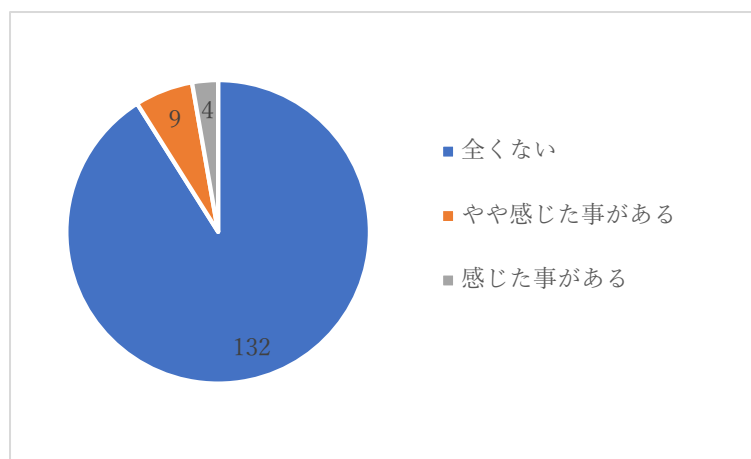


58. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

7件の回答では、大学周辺の道の暗さが要因となっている回答が3件と一番多くなった。また、質問56と重複した回答も3件あり、外部の人との学内外での関わり方について考えて行かなければならない。

59. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか

回答した 91%の学生がジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがないという結果になった。

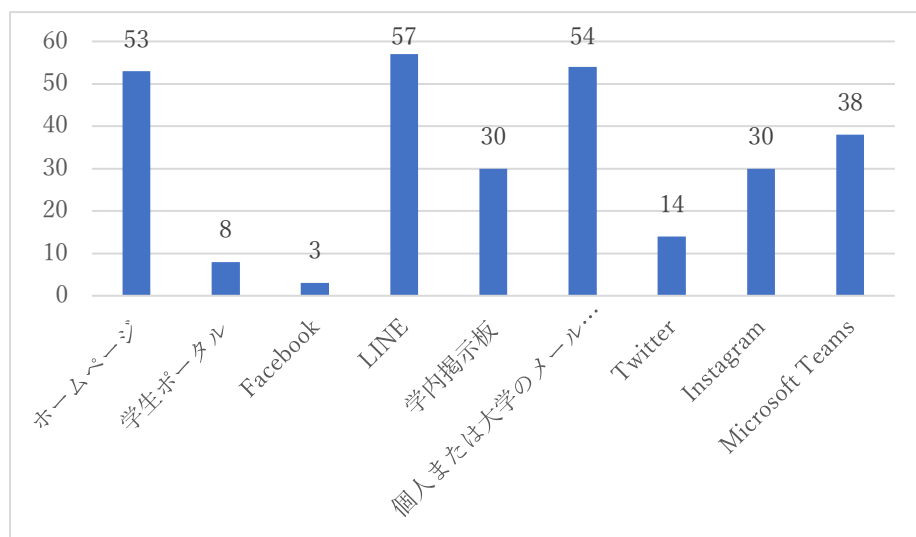


60. どのような場面で感じたか具体的に記入してください

13 件の回答では、講義や教員の発言、行動などからジェンダーバイアスを感じている内容が 10 件となり、教員側の意識について問われる結果となった。

61. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がいいと思いますか(複数回答可)

学生ポータルがもっとも高い値となった。ラインやメール、teams といった通信技術を活用した情報発信が有効と思われる。



62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

38 件の「不満」が寄せられた。中には学費の件など解決ができないこともあるが、アンケートに 26 答えた 4 人に一人が何らかの「不満」を訴えている。この数字が示す事実を本学の教職員は、重く受けねばならない。多くが、大学の施設・設備に対することであり、清掃、レストランのメニュー不足や座席不足、喫煙所がないこと、冷暖房の不備などである。改善できるところから着手が必要である。土曜日図書館や事務が対応してくれると助かるなどの要望があった。昼時のレストランが混雑する、学生駐車場を、高校サッカー部の保護者が使っているが、学生駐車場なので利用をやめてほしいという要望などがあった。大学・短大の授業に関して、課題の提出日が重なるので、その重なりをできるだけなくしてほしいという声も聞かれた。

63. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

62 と同様、38 件の改善要望が寄せられた。多くの回答は、62 の補足説明、あるいは繰り返しであるが、平成ホールでの授業が受けにくく机がほしいという意見、購買で総菜パンやお弁当を販売してほしい、レストランの食券数を増やしてほしいといった要望があった。

64. 協力ありがとうございました。意見などがあったら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)

本アンケートに対する不信感が、少なからず綴られている。「アンケートによって動いた〔大学側で改善の動きがあった〕実態をみたことがないので毎回このようなアンケートを行う度に疑心になる〔疑心が生まれる〕」といった入力がある。またアンケート項目が多いといった意見も挙げられている。

優秀学生には授業料免除の制度などがあると学生のやる気がアップするのではないかという意見もあった。

卷末資料

1. 委員会構成メンバー

学生委員会

橋爪 博幸	短期大学部生活科学科	学生委員会委員長
川上 智史	医療保健学部栄養学科	学生委員会副委員長
久保田 隆子	医療保健学部看護学科	
神戸 美恵子	医療保健学部栄養学科	
大野 治美	医療保健学部栄養学科	
関谷 果林	医療保健学部栄養学科	
古賀 裕子	別科助産専攻	
井桁 千恵子	短期大学部生活科学科	
鹿山 未優	短期大学部生活科学科	
寺村 サチコ	短期大学部アート・デザイン学科	
野村 亜希	短期大学部アート・デザイン学科	

事務

小川 由紀子	教務・学生課学生係主任
阿部 康弘	総務課主任
島宮 拓也	教務・学生課学生係職員

2023 年度調査に向けての総括

新型コロナウイルスの蔓延がなお危惧されるなかで、2022 年度の学生生活実態調査の結果をまとめた。

今回で3回目となる生活実態調査を終えて、学生は現在の桐生大学・桐生大学短期大学部での学業生活におおむね満足である様子がうかがえる。笠懸キャンパス内の建物によっては修理・修繕が必要な箇所があったり、生活サポートで不足する側面があったりするものの、ソフト面では学生と教職員との意思疎通や情報のやりとりが滞りなく行われており、本学における学業生活の満足度が何とか合格点をいただける状態を保っているように思われる。

看護学科では2022年度から定員が100名に増員され、教室等の確保が喫緊の課題となっている。またアート・デザイン学科ではここ数年、定員50名を超える入学者があり、看護学科とともに教員数をしっかり確保するなど、早急な対応が求められている。また、情報機器や通信技術が発達するにつれ、学生同士、学生と教員との関係が希薄化することが懸念される。

サークル活動や演習や実習におけるグループ活動についての充実度や困りごと・悩み事などについても調査しているが、今後は人間同士のコミュニケーションがどれほど行われているかといったことにも注意を向けていきたい。

本来であれば、本報告書は、2023年3月末でまとめて、大学・短大部で共有されるべきものであった。だが、前年度の実態調査の結果についてとりまとめの作業が終了しないうちに、2023年の4月を迎えてしまった。前年度の学生委員会委員長は本学を去っており、代わりに本年度の学生委員会ですとめる作業に着手した。

本年度、学生委員会のメンバーとなり、前年度の残された仕事をご担当くださった委員会のメンバーに感謝する次第である。

アンケートの結果には、学生からこのアンケートを実施しても改善がみられない、実施する意味があるのか、結果について何も報告がない旨の回答が寄せられており、このことを学生委員会をはじめ全教職員が真摯に受け止めねばならない。

2023 年 12 月吉日

2023 年度
学生委員会委員長
橋爪 博幸